

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
地域生活支援学		必修	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
浅野 克俊 他	C313	k.asano	火曜日 14:40~16:10		
授業の目的・概要	住み慣れた地域で自分らしい生活が維持できるよう予防作業療法と就労支援を中心に学ぶ。介護予防に関する理念と制度、福祉的就労に関する各種制度、予防作業療法と就労に関する評価と具体的な支援内容、自助・共助を中心とした地域づくりの実践について講義と事例検討を行う。また、臨床実習Ⅱ (地域実習) に向け介護予防分野の実践的な知識や技術を身につける。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	地域作業療法学・地域理学療法学と並行して行われるため、学習した知識や技術を都度復習すること。グループワークを中心に授業が展開されていくので、積極的な討論に参加すること。				
教科書	大熊 明/加藤 朋子 編 地域作業療法学 (標準作業療法学 第4版) 医学書院				
参考書	山田実 編著 イチからわかる!フレイル・介護予防 Q&A 医歯薬出版				
外部教材	Strengthening Community Health Worker Programs (HarvardX) Rajesh Ramesh Panjabi et al,edX				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	予防作業療法の目的と意義について説明できる。			RH(1)~(5)	
②	予防に関連した評価について説明できる。			RH(2)~(4)	
③	予防作業療法のプログラムについて説明できる。			RH(2)~(4)	
④	自助・共助を促進する方法について説明できる。			RH(2)~(5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	予防作業療法の理念、概要を学ぶ	講義	授業前に教科書 P29~33 を精読	1	
2	介護予防・日常生活支援総合事業・一般介護予防事業について学ぶ	講義	授業で提示した資料を用いて復習	1	
3	自助・互助・共助における地域づくりの概要と実践について学ぶ	講義・演習	グループごとに討論しまとめる	1	
4	自助・互助・共助における地域づくりの実践について学ぶ①	演習	グループごとに討論しまとめる	1	
5	自助・互助・共助における地域づくりの実践について学ぶ②	演習・GW	グループごとに討論しまとめる	1	
6	自助・互助・共助における地域づくりの実践について学ぶ③	演習・GW	グループごとに討論しまとめる	1	
7	自助・互助・共助における地域づくりの実践について学ぶ④	発表	グループごと発表準備を行う	2	
8	地域生活支援における実践について学ぶ①	講義・演習	授業で提示した資料を用いて復習	1	
9	地域生活支援における実践について学ぶ②	講義・演習	授業で提示した資料を用いて復習	1	
10	地域生活支援における実践について学ぶ③	講義・演習	授業で提示した資料を用いて復習	1	
11	職業関連活動の概要、作業療法士の就労支援について学ぶ	講義・演習	授業で提示した資料を用いて復習	1	
12	就労を支援する法制度、障害者の雇用形態、障害者の就労に関する支援機関と専門職種について学ぶ	講義	授業で提示した資料を用いて復習	1	
13	就労支援の流れ、評価について学ぶ	講義	授業で提示した資料を用いて復習	1	
14	Individual Placement and Support(IPS)、その他就労に関する最新の知見について学ぶ	講義	授業で提示した資料を用いて復習	1	
15	地域生活を支える作業療法士の支援の在り方を学ぶ	講義・演習	授業で提示した資料を用いて復習	1	

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

試	定期試験		
---	------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		40	20	40	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	30	10	10	0	0	50
	思考・推論・創造する力	10	5	10	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	5	20	0	0	25

評価のポイント			フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	
試験	①	学期末に定期試験を実施して評価する。試験は、講義で学んだ教科書・配布プリント・板書ノートの内容に基づく問題、および応用問題を出題し、理解度を問う	研究室 (C313) 又は Teams を使用し試験結果を個別に開示し、解説を行う。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①	第 8 回～10 回の内容についてレポートを記載する。	研究室 (C313) 又は Teams を使用し結果を個別に開示する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①	地域包括ケアシステムにおける自助・互助・共助を理解し、地域の一般介護予防事業の内容をグループにて検討し発表する。介護予防における知識や地域の問題を理解し、対応した事業案を検討できているかなどを評価する。	研究室 (C313) 又は Teams を使用し結果を個別に開示する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	担当教員は作業療法士として 10 年以上の臨床業務経験を有する
実践的授業の内容	地域作業療法（介護予防と就労支援）の実務経験のある教員で、予防作業療法の評価・支援について臨床をもとに事例検討を行う。

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

そ の 他	授業は面接授業で実施する。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 受講態度に問題がある学生は退室をしてもらうので注意すること。 課題提出は Teams を使って行う。 レポートは生成 AI 等の使用を認めない。
-------	---